



アカアジ



オアカムロ



クサヤモロ



ムロアジ



モロ

ムロアジ類（東シナ海） 令和3年度資源評価結果

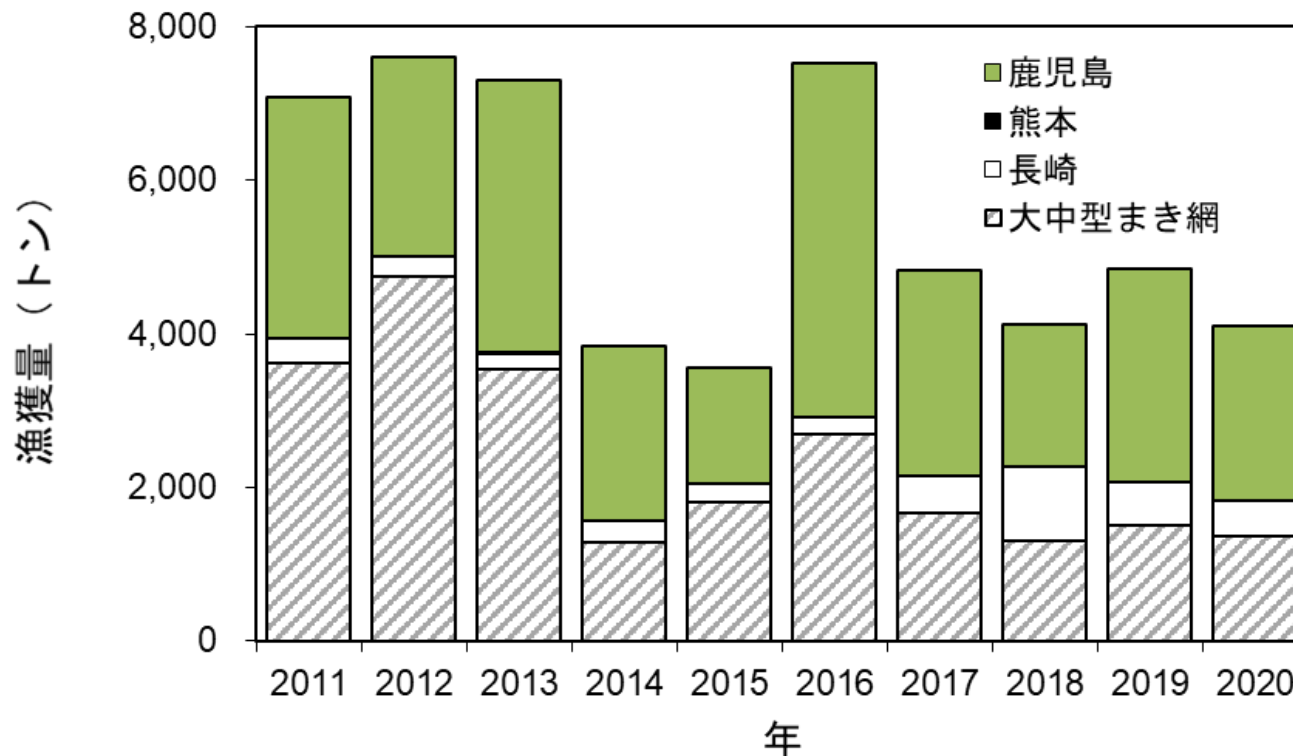
生物学的特性



生物学的特性

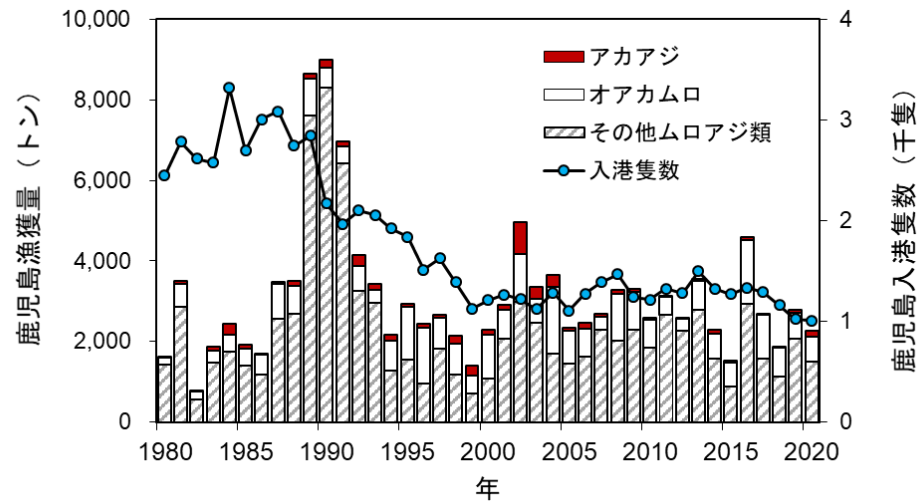
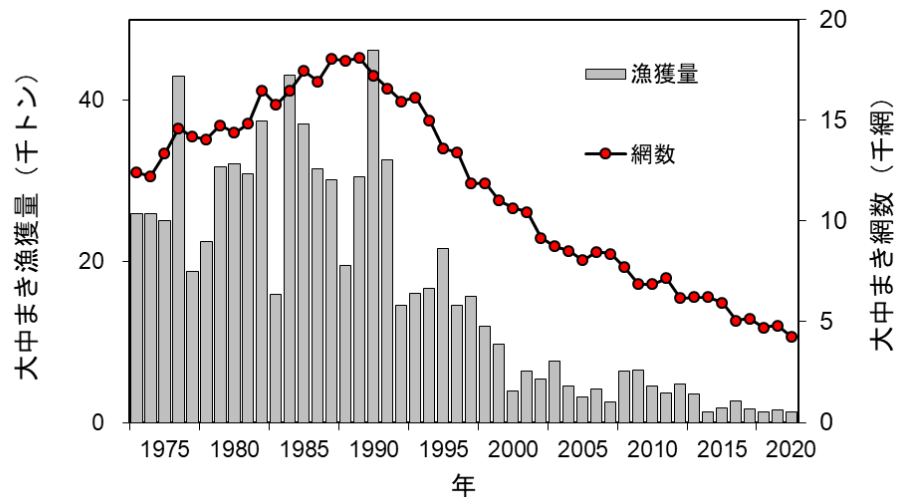
- 寿命: アカアジは10歳程度、オアカムロは7歳程度、クサヤモロは8歳程度、モロは5歳程度
- 成熟開始年齢: モロ、クサヤモロでは2歳
- 産卵期・産卵場:
春～夏、アカアジやオアカムロは東シナ海南部以南で産卵の報告があるが、その他の種は不明
- 食性:
詳細は不明
- 捕食者: 大型魚類・哺乳類など

漁獲の動向①



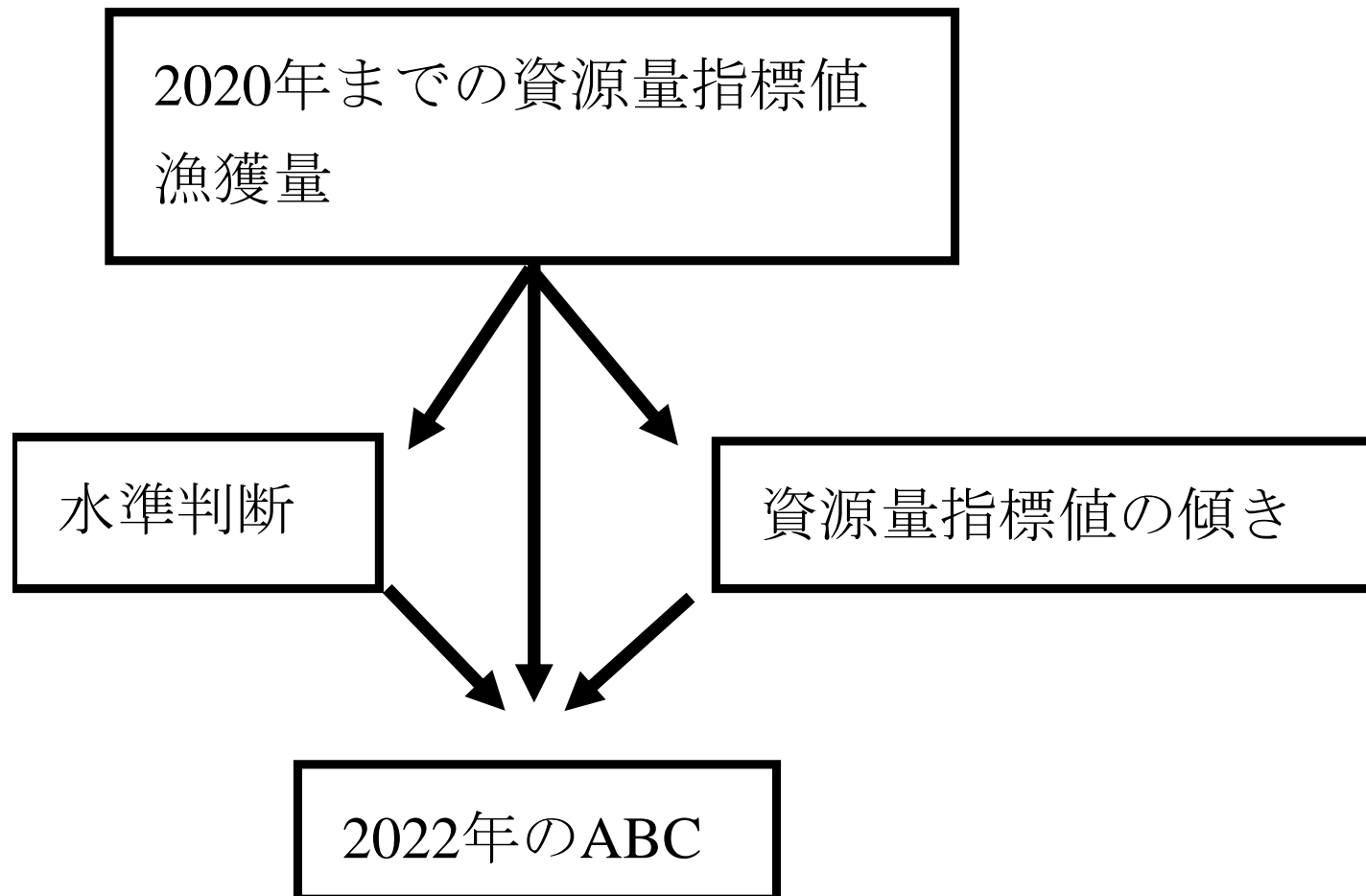
- 大臣許可漁業（大中型まき網）と、長崎県・熊本県・鹿児島県における知事許可漁業（中・小型まき網主体）を集計
2020年の漁獲量は4,102トン
- 大中型まき網の占める割合は減少傾向

漁獲の動向②

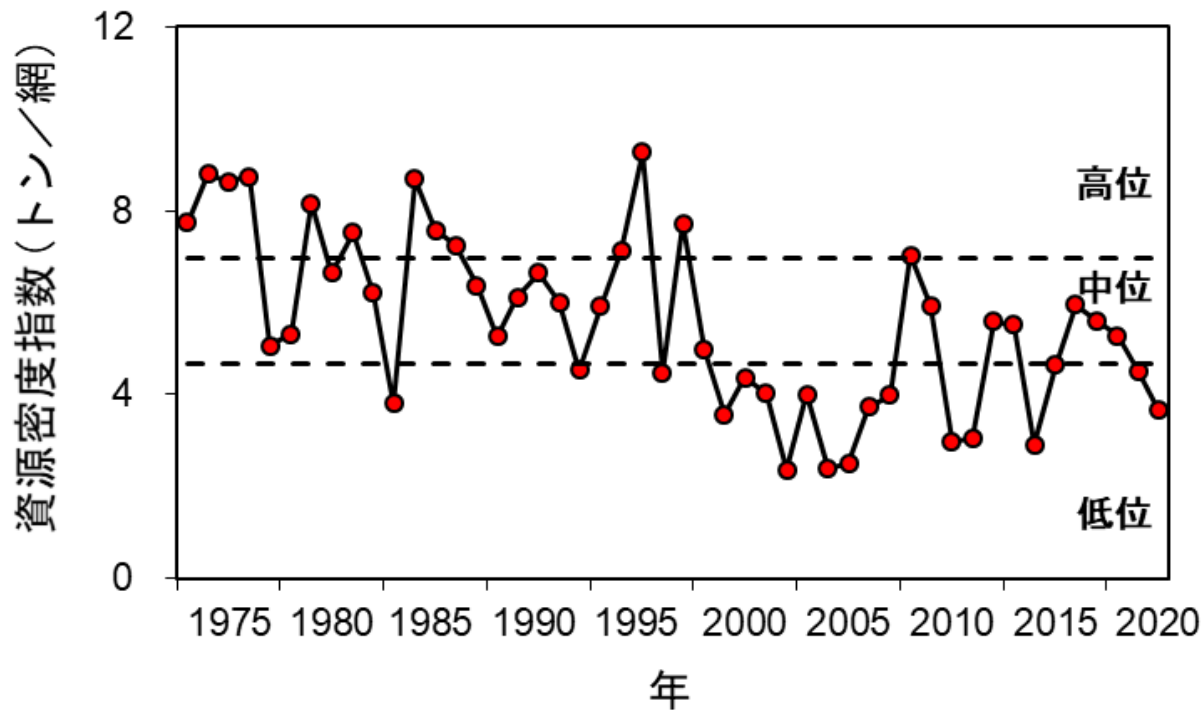


- 大中型まき網のムロアジ類の漁獲量は2000年代に10千トンを下回り、2015年以降は1～3千トン前後
網数は1990年以降減少し、2020年は0.4万網
- 鹿児島県主要港では、アカアジとオアカムロを区別して集計全体の漁獲量は2005年以降、2～5千トン
入港隻数は1990年代まで減少し、2000年代以降は1,000隻前後

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分

1973～2020年における資源量指標値（大中型まき網のムロアジ類の資源密度指数）の最小値（2.36トン/網）と最大値（9.27トン/網）の間を3等分した値をそれぞれ低位と中位、中位と高位の区切りとした

- 資源水準：2020年の資源量指標値は3.68トン／網であり「低位」
- 資源動向：直近5年間の資源量指標値の推移から「減少」

資源評価のまとめ

- 資源水準は低位、動向は減少
- 大中型まき網漁業の資源密度指数に基づいて資源状態を判断した

2022年漁期ABC

管理基準	Target/Limit	2022年漁期ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増減%)
0.8・C2020・0.82	Target	22	—	—
	Limit	27	—	—

- 0.8 : 資源水準が低位、資源動向が減少である場合の標準値
- C2020 : 2020年の漁獲量
- 0.82 : 資源量指標値の近年の動向から算定される係数